

6. 親子のコミュニケーション編③<子どもを知る>

② 子どもの「大切なもの」を見つけよう

<<ねらい>>

○子どもだった頃に大切にしていたもの・時間・言葉を思い出すことで、子どもの気持ちを理解し、親として適切なかわり方をしようとする意識を高める。

<<準備物>>

- ファシリテータ：ワークシート
- 参加者：筆記用具

	時間	主な活動	発言	留意点
導入 (10)		1. 学習のねらい  普段はつい大人の目で子どもを見てしまいがちですが、子どもの気持ちになって見てみると、いつもと違う見方ができるかもしれません。今日は子どもの気持ちについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。その前に、ちょっとリラックスするために、簡単なゲームをしましょう。		
		2. アイスブレイク ・グループ分け ・自己紹介	アイスブレイクの例参照	・4人程度のグループに分ける。
		3. ルールとマナーの確認	P. 6参照	
展開 (35)	6	4. ワークシートに記入する。 ・子どものころ大切にしていたもの (ワーク1)	4. あなたが子どもの頃に大切にしていたものは何ですか。その理由も思い出して <b>ワーク1</b> に書き出しましょう。	・楽しかった時間や言われた言葉なども入る。 例：旅行にいったこと、ほめられたことなど
	7	5. グループで話し合う。 ・子どもが安心する言葉 (ワーク2)	5. あなたの大切にしていたものをグループで紹介しましょう。そのときの気持ちやエピソードもあれば紹介してください。	
	7	6. ワークシートに記入する。 ・我が子の「大切なもの」 (ワーク2)	6. お子さんの大切にしているものは何ですか。お子さんの様子や言葉をおもいだして <b>ワーク2</b> に書き出してみましょう。	
まとめ (15)	15	7. グループで話し合う。 ・子どもにとって「大切なもの」 (ワーク3)	7. お子さんの「大切なもの」を紹介しながら、子どもにとって「大切なもの」についてグループで話し合い <b>ワーク3</b> にまとめましょう。	・時間があれば抽出グループの発表や個人発表などしてもよい。
	5	8. ふりかえり	8. このワークをふりかえって、気づいたことをワークシートに書いてください。	
	10	9. まとめ  大切なものの形は違って今も昔も子どもの感性はかわりません。子どもが感じる喜びや楽しさ、嬉しさを感じることで子どもの世界を理解することにつながっていきます。おうちの方の大切だったものについて伝えながら、「大切なもの」について子どもと話し合ってみてください。		

## ② 子どもの「大切なもの」を見つけよう

大人になることは、悲しいことに、自分が子どもだった頃の気持ちを忘れてしまうことだとも言われます。そこで、今日は子どもの頃にタイムスリップし、自分が子どもの頃大切にしていた宝物を思い出しましょう。ひょっとすると、子どもにとって大切なものは、今も昔も大差ないかも知れませんね。

今日、おうちに帰って、自分が「大切にしていたもの」我が子が「大切にしているもの」について、親子で話し合ってみてはいかがでしょうか。子どもの心が見えるかも知れません。

### ワーク1

あなたが子どもの頃に「大切にしていたもの」を思い出してみましょう。  
(大切にしていたものは物だけでなく時間や言葉も含みます。)

大切にしていたもの	その理由


### ワーク2

我が子の「大切なもの」を思い浮かべてみましょう。

### ワーク3

子どもにとって「大切なもの」について話し合ってみましょう。

- ・
- ・
- ・



### ふりかえり

